

高岡厚生センター運営協議会

日 時 令和5年10月19日(木)13時30分～14時30分
場 所 高岡エクール 1F 多目的ホール
出席者 委員14名 代理4名 (委員25名中)
県 厚生部次長
高岡厚生センター所長 ほか

1 開 会

2 あいさつ (厚生部次長)

3 報告事項

(1) 高岡厚生センター事業の概要について

(2) 入浴施設におけるレジオネラ症防止対策について

4 閉 会

質疑及び意見等

夜間における 23 条対応の強化について

委員 23 条通報というのは、警察官が自傷他害の恐れのあるという者を発見した際に、精神保健福祉法第 23 条に基づいて厚生センターに通報し、その結果、必要であれば医師の診察を受けた後、医療機関へ送るというものである。措置診察が必要だとなった場合、特に夜間や休日の前日などは、医師の到着まで長い時間がかかるということがある。
そういう体制はどのようになっているのか。体制が充実し、早急に必要な医療を受けることができるよう待たせる時間ができるだけ短くなればいい。

事務局 精神保健福祉法の第 23 条通報は、自傷他害の恐れのある方がいたときに、警察が厚生センター・保健所に通報するという規定のことで、実際、通報を受けたときは職員がまず事前に調査をし、措置診察が必要かどうかを判断したうえで、必要な場合には、県庁健康課を通し精神保健指定医 2 名を確保して、措置診察を行っていただくことになっている。
診察までに時間を要する場合は事実であり、大変申し訳なく思っている。自傷他害の恐れが切迫している場合には、精神障害者等に速やかに適切な診察を受けていただけるように、健康課と努力しているところであり、警察の方には引き続き障害者の医療および保護の提供にご協力いただければと思う。
なお、通報の件数は令和 4 年度は 29 件、令和 3 年度は 31 件であった。調査により診察不要となったのは令和 4 年度 8 件、令和 3 年度 10 件ということで、診察が必要となった方は 21 件、そのうち入院となり措置及び医療機関に搬送した方が 19 名であった。

精神障害者支援について

委員 何年か前に、精神障害の方を施設から地域へ返しましょうといった動きがあり、地域が戸惑った経験がある。通報等いろんな場面で、どうしたらいいのかと判断するのが非常に難しい。地域でどのような形で受け止めるのかというのを勉強しないといけない。そのため、厚生センターの動きが非常に大事になってくると思う。地域の人たちにも少しでも知ってもらえるよう広報活動等を充実してもらえたらいいなと常々思っている。

自殺対策について

委員 富山県は、女性の自殺者が全国で一番多いと聞いている。本当に止めていかなければいけない、大切な命を救ってあげたいということを考えたとき周りにはどのようにすればいいのか。ストーカーや引きこもりなどの人たちに対するアフターケア的な支援はどのようなことが行われているのか。

事務局 自殺の理由というのは多岐にわたるということ、また、自殺してしまった方からはもちろん理由を聞くことができないため原因がなかなか特定しにくく、それに対する対策も立てにくい。そうした中で厚生センターとしては、まず気軽に相談していただくことが大事だと思っており普及啓発等を行っている。年に2回、普及啓発月間を設け心の健康づくりに関する啓発活動や、メンタルヘルスサポーター育成事業としてメンタルヘルスサポーターとして声掛け等のご協力をいただける方を育成する活動をしている。

委 員 行政と地域がお互い力を合わせていきたい。地域の方では何かあったらお知らせするというようなことを心掛けていきたいと思っている。

食生活改善事業について

委 員 食生活改善推進員は減塩、病気予防の方面でいろいろな活動をしている。減塩に対する活動ではいろいろなところでみそ汁の飲み比べを行った。また、1日に野菜を350g食べてくださいという活動では、野菜350gを実際に測って自分が毎日食べている量と比べてもらうことを通してPRしている。また、今後は小学校・中学校の方で栄養教室をしていきたいと考えている。

感染症発生動向調査事業について

委 員 タイムリーに感染症の流行状況を把握したい。定点医療機関からの数は厚生センターで把握していると思うが、タイムリーに知ることは可能か。

事務局 感染症の流行調査は、富山県では、50ほどの医療機関から継続的に感染症の報告を受け行っている。「患者定点把握対象感染症の発生状況」では週報と月報を報告している。電子データで医療機関から報告されたものを富山県衛生研究所にある感染症情報センターで集計をし、一週間分を翌週の水曜日にインターネット上で報告している。また、届出を受けた医療機関にはメールで感染状況についてのレポートを届けている。レポートは感染症情報センターにアクセスすれば見ることができる。

委 員 それは、地域別になっているものか。

事務局 4つの厚生センターと富山市の5つに分かれている。高岡医療圏として高岡市、氷見市といった個別には出ていない点はご了承いただきたい。

委 員 学級閉鎖の情報は大変流行状況を敏感に反映している指標だと思うが、これに関して厚生センターの方では把握しているのか。

事務局 インフルエンザの学級閉鎖については県で把握している。また、それぞれの流行状況については、専用システムに入力されたものを厚生センターで見るということは可能となっている。